

北上市では約5万人の方が働いており、その中には女性も県外から来た人も育児や介護をする人などがいて多様なライフスタイルを送っています。

この「なりわい事例集」では、

働く人の多様な視点から見た企業の魅力や働く人が輝く職場づくりなどについてインタビューしています。



なりわい事例集 vol.6

株式会社PEK 北上事業所

「適材適所」でみつけたやりがい
—女性も活躍できるメンテナンス業務—

最先端工場に不可欠なライフラインを支えるジャパンマテリアルグループの一員として2019年4月に北上事業所を設立。半導体工場に欠かせない超純水設備や工場からの排水処理設備の維持管理、オペレーション業務、保守メンテナンスなど水処理プラントオペレーションのすべてに対応する技術者集団です。

<https://pek.jp/>

所在地：岩手県北上市北工業団地6-6

「適材適所」でみつけたやりがい

－ 女性も活躍できるメンテナンス業務 －

水処理プラント

超純水設備などのメンテナンス

適材適所

女性の管理職を目指す

特定化学物質等作業主任者

酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者

国家資格

資格取得補助



きくち あき
菊池 明希(42)

勤続3年/水処理プラント内
作業(メンテナンス)

菊池班長 以前はライン作業の仕事をしていたのですが、転職を考えていたとき目についた「水処理プラント」という言葉が珍しくて応募しました。私が担当しているのは半導体工場に欠かせない超純水設備などのメンテナンスを行う仕事です。工業系の学校で学んだ経験もなかったので、最初はすごく不安でした。一生懸命取り組んでいるうちに仕事も面白くなって、やりがいも生まれています。

メンテナンスの仕事は男性中心のイメージもありますが、私が入社した



3年前は他に2名女性がいたので「女性にできるのか？」という不安はありませんでした。私は力がないので(笑)力仕事は男性の方にサポートしてもらって、適材適所で私ができる仕事を日々がんばっています。現在では現場で働く女性も6人に増えています。そのなかには20歳の女性もいて、女性も活躍できる仕事だと思います。

仕事をするうえで、常に焦らずに行動することを大切にしています。重いモノもありますし、フォークリフトに乗ったり薬品を扱ったりもするので、安全第一でケガのないように焦らず仕事をするのを心がけています。

菊池班長 私はこれまで「特定化学物質等作業主任者」や「酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者」などの国家資格を含めて12の資格を取得しました。最近、フォークリフトの運転ができるようになり、今は「第二種電気工事士」の国家資格を取得しようと勉強しているところです。

上司の
ふじなが ひろし
藤永 浩さん
にもお話聞きました！



藤永部長 私たちの仕事は、水処理プラントオペレーションのすべてに対応するので、必要な資格も多種多様にあります。菊池さんは水処理プラントのメンテナンスを担当しているので、その作業に絶対必要な資格を取得していただいています。こうした資格は働くスタッフの身を守るためにも必要なものなので、現場の危険性をわかったうえで安全に作業していただくためにも資格取得は大事になってきます。必要な資格はたくさんありますが、それを一度に取ることは不可能なので、費用はすべて会社負担で、ひとつひとつ段階を踏んで取得していただいています。

菊池班長 私は美容系の専門学校出身ですが特に資格取得は問題はありませんでした。「第二種電気工事士」の国家資格はちょっと大変ですが（笑）ひとつひとつの仕事を一生懸命にやって、難しい仕事にもチャレンジしているうちにできることが増えていって、それがやりがいにもつながっていくので、仕事に興味を持って学びたいと思えば工業系出身ではなくても、もちろん女性でも大丈夫だと思います。

菊池班長 仕事は大変ですが、仕事以外ではたわいのない話で笑い合ったりして明るい職場だと思います。20歳の女性も「楽しいから続けられる」と言っていました（笑）上司にも気軽に相談もできますし、答えもすぐに返ってくるので連携もよく取れていると思います。

藤永部長 確かに職場は明るいですね（笑） 私たちの仕事はひとつの失敗が半導体工場の生産に影響を与えてしまうかもしれないというリスクが常にあります。仕事は人と人でするものですから、何でも率直に言い合える関係づくりは仕事をするうえで大事だと思っています。

菊池班長 適材適所で女性でもできる仕事を任せてもらえるところがこの職場で働く魅力だと思います。最初は不安だと思うのですが、女性も増え、みんなでコミュニケーションを取りながら働いているので初めての方でも働きやすい職場だと思います。

菊池班長）今は班長も任せていただけていますが、まだまだ学ぶことが多いので、これからも資格を取得したり、先輩や上司にも自分から積極的に学び、スキルアップしていきたいです。そして、将来は班長から主任へとステップアップしていけたらと思っています。

藤永部長）資格取得に必要な講習への参加や費用などすべて会社が負担するのはもちろんですが、私たちが携わる水処理業界はやっぱり“人”で、経験則が大事になる場面が多くあります。そこで培った経験や技術を、机上ではなく“人”にコーチングして伝えていく。

私はいつも「興味を持ちなさい」と言っています。興味を持ったら調べますよね。それでもわからなかったら先輩や上司に聞く……。もちろん、こちらからも技術を教えるんですけども、それだけでなく自分からも興味を持って調べたり先輩や上司に聞きに行ったりできるような環境をつくっていきたいと思っています。



藤永部長）菊池さんは責任感が強く、常に仕事に興味を持って取り組んでいます。「あの仕事を覚えたいです！」と私もしょっちゅう言われているので(笑)やっぱり人って興味を持っていると、技術の習得も、仕事を覚えるのも早いです。また、自分が学んだことを後輩に伝えていけるのも強みです。さらに、上司に対しても間違っていることがあればしっかり指摘できるところも、信頼できるポイントだと思います。

菊池さんには主任、課長とステップアップして、ぜひ女性の管理職をめざしてがんばってほしいですね。

菊池班長）はい、がんばります(笑)

藤永部長）そのために、外部のマネジメント講習にも参加してもらっています。社内の環境だけでなく、外の世界を知ること視野を広げてほしいですね。私たちの仕事は女性も活躍できる仕事なので、ぜひそうした講習も活かして女性の管理職をめざしてほしいですね。